

2017年 社長年頭挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。
年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、概ね緩やかな回復途上の世界経済のもとで、日本では、英国のEU離脱の決定以降、円高が急速に進行し、また熊本地震や台風など自然災害等も重なり、個人消費は盛り上がりには欠けました。米国大統領選挙後には1年ぶりの利上げも相まって急激なドル高・円安、株高、原油高へ様相が一変しました。

当社においては一昨年の連結決算で合金鉄事業と電池材料事業が減損会計基準の適用を受け多額の最終赤字を計上しましたが、この事態を正常化すべく、この1年間、全社グループの総力を挙げて収益改善とコストダウンに懸命に取り組んでまいりました。

本年は、米国第一主義を標榜する米国新大統領の政策が今後どのような影響を内外に及ぼすのか予測できませんが、私たちは当面この上下の振れ幅の大きい不安定な環境のもとに身を置かざるを得ないと認識しています。

こうした環境の中で、当社は合金鉄市況、原料価格と為替レートなどのリスクを従来以上に厳しく想定し、その変化に的確に対処しながら当社の経営を進めてまいります。

以上を踏まえて、当社グループの主な課題は以下の5点と認識しています。

1. 中央電気工業との完全統合への万全な準備と対応

2018年1月の完全統合まであと1年となりました。すでに昨年から本社フロアの一体化など、中央電気工業との一体運営を加速させる取り組みを着々と進めています。両社の諸制度と業務システムの統一など、万全な準備と対応を進める所存です。

2. 無事故無災害の達成

「安全な職場の確立」を実現するため、再度「安全の基本」に立ち返り、階層ごとの役割の周知徹底を図るとともに、常に緊張感をもって安全最優先とKY(危険予知)を自ら実行し、「無事故無災害」の達成に全力を傾注します。

3. コンプライアンスの徹底とグループ全員への教育の強化

私たちは常に東証1部上場企業としての自覚と責任感のもと、法令や規定など社内外のルールをしっかりと守るとともに、リスクの芽を早く摘み取り、事件事故の未然防止に努める所存です。

4. 当社グループの業務基盤の整備強化

当社グループの更なる成長を可能とする業務基盤の構築に向けて、一番大事な人材育成の更なる強化に取り組めます。管理職の仕事の半分を部下・後輩の指導に当てるとともに、今年は部長、課長・マネージャーなど上司の研修を強化いたします。

また当社グループのすべての活動についてPDCAサイクルを常に確実に回し、経営資源を効率的に活用して最大の成果を目指します。

さらにグループ各社との間でより戦略的で有機的な関係や横断的なネットワークを構築いたします。当社グループの人・物・金・技術・情報などの資産を有効活用するとともに、連結経営の基盤強化に取り組んでまいります。

5. 連結収益の安定確保と企業価値の一層の向上

当社グループとして安定的な連結収益の確保のために、合金鉄事業・機能材料事業・環境事業・電力事業の4コア事業に重点的に経営資源を投入することによりバランスのとれた連結収益体制を構築して参ります。

また、昨年当社の機関投資家等を対象に鹿島工場の見学説明会を初めて実施しましたが、今後ともホームページ刷新による当社認知度の向上など、企業価値向上のための諸施策を鋭意検討実行していく所存です。

今年も新日本電工グループの更なる発展を目指して、当社グループをあげて様々な課題の解決に全力を傾注する所存ですので、引き続きご理解ご支援のほど宜しくお願いします。

皆様のご健勝ご多幸を心から祈念し、年頭のご挨拶とします。